

# 地域の古道の景観及び文化遺産の保全と、 明るく活力ある地域づくり

## 山梨県身延町 中之倉里山会

### はじめに

地域にある旧道は、古くは駿州往還と中道往還を結ぶ間道として利用され、富士講碑などの歴史を偲ぶ文化遺産と美しい景観があり、これを「中之倉古道」と呼び、地域の宝として後世に残すための保存活動と地域の環境整備活動を通して、地域の活性化を進める活動をしている。

高齢化や人口減少が進む当地域は、従来の集落行事もままならないような状況であり、さらに進む過疎化への対応について、明るく前向きな地域にしようと取り組んでいる。

### 中之倉地区の概要

中之倉は、山梨県の南に位置する身延町にあり、中之倉峠からの千円札の本栖湖の富士山は有名である。山間の集落であるが古来より、狭いながらも農林業や紙漉などが盛んに行われており、明治期には戸数41、人口223と言われたが、時代の流れの中で人口減少が進み、特に戦後の高度成長期に若者の流失があり、現在は戸数20、人口30となっている。年齢構成は、80歳代以上が16人で人口の53%、残りのほとんどは60〜70歳代で若者と言われており、いわゆる超限界集落と言われる状況である。高齢化が、さらに進むことは明らかであり、悲観的な現状であるといえる。

人手も少なくなる中、各種行事も縮小傾向にあり、区民がそれぞれに不安と危機感を持ちながら、顔を合わせて話をする機会も少ない状態であった。

今、里山会の活動を通して中之倉古道の保存活動だけでなく、村内の環境整備、村のお祭りや、御神楽奉納の実施、お盆、正月の行事の活発化など、新しい動きが出てきており、高齢化、人口減についての有効な対策は模索中であるが、前向きに意見を出し合い、村の活性化に向けて、一歩ずつ進めている。

### 里山会設立までの経緯

平成25年6月に富士山が世界文化遺産に





現地での勉強会

登録されたことから、当地にも富士講碑がいくつもあり、これらは富士山の世界文化遺産の関連遺産ではないかということ、有志より、きちんと調べてみようとの話になり、平成28年1月に活動が動き始め、3月19日に地区公民館で「世界文化遺産としての富士山と富士講」と題して、町の文化財担当学芸員の深沢広太氏に講演していただいた。さらに6月18日には、多くの区民が参加して深沢広太氏に指導いただき富士講の碑や石仏群、馬頭観音などの石碑も多数ある村内の旧道を歩き、現地での勉強会を行い、この道が駿州往還と中道往還を結ぶ重要な道であったことも学んだ。そこで、この道の景観の素晴らしさも発見し、これを「中

之倉古道」と称し地域の宝として後世に残せるように整備保存しようという動きになった。

この古道は従来、区民の生活道として利用されていたが、この道に架かる橋が、老朽化して崩れ落ちて通行不能になったままであったため、掛け直さなければと、町の補助を受け、平成29年1月と9月に中之倉区役員が工事を行い、3ヶ所の橋が架け替えられた。

橋の架け替えが行われたのを機に、古道保存構想は進められ、「中之倉古道保存会」を作り保全しようということになった。

しかし、発足までの話し合いの中で、中之倉の高齢化が進む中、村人足による作業が難しくなるなど、これから先を考えると、古道の保存だけでなく、村全体の環境の整備も行って、明るい村、住み良い環境と地域の活性化を考えた活動にしよう、ということになり、名称も「中之倉里山会」として、平成30年3月に正式発足し活動を開始した。

## 活動内容

### 古道の保全整備活動

・まず、古道に架かる橋の架け替えは出来たが、今まで使われていなかったもので、道は崩れ、通行には危険な箇所もあり、土砂の



古道のごみ拾い・清掃

除去や小橋掛けなどの道作りなどの補修作業と小石、小岩などの除去、堆積した木の葉や落木の除去など安全に通行できるように整備作業を行った。

・景観保全のため、古くから堆積したゴミの片付けや、古道の上を通る国道300号線より捨てられる空き缶やペットボトル、弁当ガラなどを拾い、落石や落ち葉の片付け、草刈などの清掃活動を継続的に行っている。

・また、本来の古道は、本栖まで続く道であり、その道を復活させる計画を立てて、長く使われていない道筋を確認しながら進めている。

・中之倉古道を広く知らせアピールし、会員の活動のシンボルとして、また、区民の拠



公民館周りの清掃・花植え



案内板の完成

り所になるようにと、中之倉バイパス脇の古道入り口に「中之倉古道と周辺のマップ」の案内看板を設置した。これには、町と区の補助を受け県の承諾を取った。新聞にも取り上げられて、これには町内外からの反響もあり、訪れる人も多くなった。

#### 古道保全活動以外の活動

- ・地区公民館の周りの、草刈り、側溝の落ち葉などの撤去、屋根や樋の点検などを行い、花の植栽などで美化活動もしている。
- ・地元の子ノ神社の清掃と、しめ縄の張替えを年末に行っている。
- ・子ノ神社のお祭りの神楽奉納にも会員が協力している。
- ・恩賜林管理道の整備は、高齢者に代わり毎年1度行っている。
- ・町の進めている「しだれ桜の里運動」で植えた、しだれ桜広場の草刈り、不要木の伐採、整地等の管理、整備を行っている。

#### 今後の展望

各事業の後に、昼食を兼ねた反省会などで融和を図っているが、活動を通して、今後の課題についても、ざっくばらんに話し合われ、情報の共有化が図られ、徐々に活性化に向け前進している。



時には楽しくお花見会

今後については、高齢化、少人数化がさらに進むのが目に見えている現状であるが、お盆のマス釣り大会や春のお花見会などのイベントを企画して、中之倉出身者、関係者に呼び掛けて、さらに祭りや正月の行事各種イベントへの参加を促しながら、併せて里山会の活動への協力を呼び掛けて、交流人口を増やしていく。

そのためには、先ず会員の親戚や知り合いに声掛けをしていくことにしており、少しずつではあるが、参加者が集まり成果も出ている。さらに出身者、関係者に案内状を送送するなど広く声掛けし、「中之倉ふるさと会」を作り交流、親睦を図ることを計画中である。

(中之倉里山会 事務局 渡辺将樹)